

4-3

行為別事項 【4】屋外における物品の集積又は貯蔵

1 集積又は貯蔵の方法

ア 視点場からの視線

集積又は貯蔵は、道路、河川、公園等の主要な視点場からできる限り見えにくい位置とすること。

【基準のねらい】

屋外における物品の集積や貯蔵は景観を阻害するため、道路や河川、公園などの主要な視点場からできる限り見えにくい位置とする必要があります。

【景観づくりの手法】

- 主要な視点場から眺望できない位置を選定する

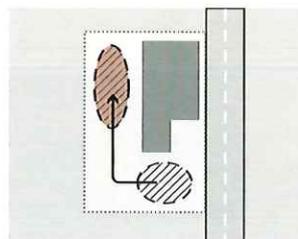
行為地は、周辺の道路等の主要な視点場から眺望できない位置を選定することにより、景観へ与える影響を軽減します。

- 敷地の高低差を利用する

行為地を敷地の高低差を利用し、目立たなくすることにより、景観へ与える影響を軽減します。



交差点や幹線道路、公園から行為地が見通せる位置に出入口を設けない。



建築物等の背後で行う。

イ 集積又は貯蔵の方法

集積又は貯蔵にあたっては、高さをできる限り低く抑え、整然と行うこと。

【基準のねらい】

高さのある物品の集積や貯蔵は、周辺の景観を阻害するだけでなく、見る人に不快感や不安感を与えます。できる限り高さを抑えけるとともに繁雑にならないよう、すっきりと整理整頓する必要があります。

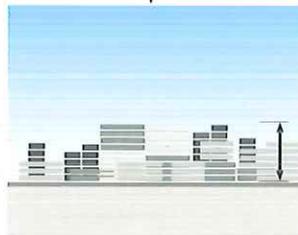
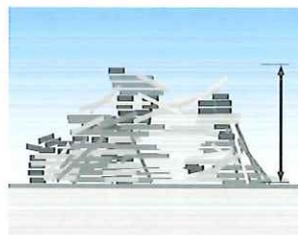
【景観づくりの手法】

- 高さを抑える

屋外における集積や貯蔵の高さを抑えることによって、周辺の景観への影響を軽減するとともに周囲の自然景観への眺望を確保します。また、そうすることにより、見る人の不快感や不安感を軽減します。

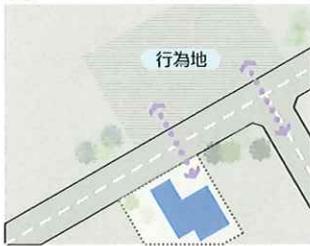
- 整理整頓する

整理整頓して集積又は貯蔵することにより、すっきりとした印象を与え、景観への阻害や見る人の不快感、不安感を軽減することができます。



高さを低く抑え、整理整頓することで景観への影響を軽減することができ、また、見る人の不快感や不安感を軽減することができる。

◎：優良事例
 ×：景観阻害事例



交差点や民家の正面など行為地が見通せる位置に出入口を設けない。



出入口は最小限に限定し、行為地が直接見通せない位置とする。



通りに面した物品の集積又は貯蔵は、景観の中で非常に目立つものとなる。



周囲を緑化することで、柔らかな印象をつくり、周辺に対する影響を軽減することができる。
 (フォトモンタージュ)

2 遮へい

ア 出入口の制限

行為地外からの出入口は最小限に限定し、行為地が道路から直接見通せない位置になるよう配慮して設置すること。

【基準のねらい】

行為地は、道路から直接見通せないよう、出入口を最小限に限定して配置し、周辺の景観に影響を与えないように配慮することが重要です。

【景観づくりの手法】

出入口の数を最小限とする

出入口の数を最小限に限定して配置することにより行為地を見通しにくくすることができ、また自然景観に影響を与えないようにします。

出入口は行為地を見通すことができない位置に設置する

交差点や民家の正面などは、直接行為地を見通すことができ、目立ちやすい場所であるため、これらの位置を避けて出入口を設置します。

イ 周囲からの遮へい

行為地の周辺への樹木の植栽等によって、行為地が周囲の道路等から見通せないよう遮へい措置を講ずること。

【基準のねらい】

行為地を、植栽等で効果的に遮へいすることで、周辺の景観に与える影響を軽減することができます。

【景観づくりの手法】

中高木を植栽する

行為地の周囲に中高木を植栽することにより、行為地周辺の道路等から見通せないよう遮へいすることができます。